

集大成 はつらつプレー 福井 中学交流試合始まる



集大成となる交流試合ではつらつとプレーする生徒＝18日、福井市至民中

福井市内の中学校運動部の集大成の場として設けられた交流試合が18日、市内各地で始まった。この日は軟式野球と卓球があり、生徒たちは試合ができる喜びをかみしめながら、はつらつとプレーした。

新型コロナウイルスの影響で福井地区中学校夏季総合競技大会が中止となり、3年生に最後の試合の機会を設けようと中体連や学校が協議して実施を決めた。学校間で試合日時や対戦カードを決め、試合時間の短縮など感染防止対策をした上で各校が数試合を戦う。至民中では、軟式野球の同校と足羽一中の1試合が

行われた。生徒たちは「これまでの成果を出そう」「悔いがないプレーを」などと元気に声を掛け合いながら投打に躍動。懸命なプレーに保護者から大きな拍手が送られていた。至民中の貴下速斗主将(14)は「半年ぶりの試合で楽しかった。残る試合も練習してきたことを出し切りたい」、足羽一中の吉川颯乙主将(14)は「全国出場を目標に掲げていただけに残念な気持ちはあるが、いつも以上のプレーができた」と話した。

交流試合は13競技で開かれる予定で、23～26日を中心に8月上旬まで行われる。(児島崇之)